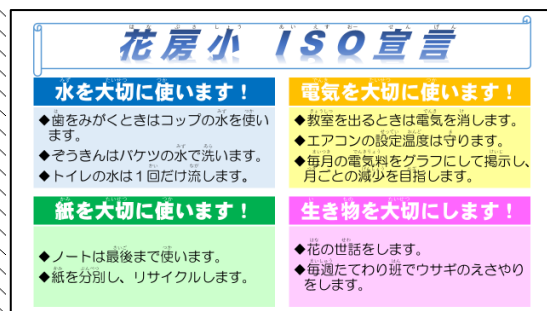


## 1 宣言

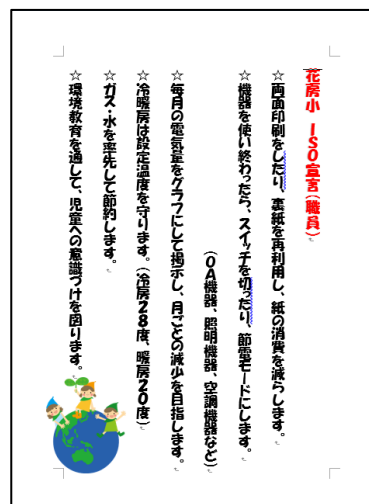
### 「学校版 ISO 花房小の宣言」

- 水を大切に使います。
  - ・歯をみがくときはコップの水を使います。
  - ・ぞうきんはバケツの水であらいます。
  - ・トイレの水は1回だけ流します。
- 電気を大切に使います。
  - ・教室を出るときは電気を消します。
  - ・エアコンの設定温度は守ります。
  - ・毎月の電気量をグラフにして掲示し、月ごとの減少を目指します。
- 紙を大切に使います。
  - ・ノートは最後まで使います。
  - ・紙を分別し、リサイクルします。
- 生き物を大切にします。
  - ・花の世話をします。
  - ・毎週たてわり班でうさぎのえさやりをします。



### 「学校版 ISO 花房小の宣言 (教職員)」

- ① 両面印刷をしたり、裏紙を再利用したり、紙の消費を減らします。
- ② 機器を使い終わったら、スイッチを切ったり、節電モードにします。  
(OA機器、照明機器、空調機器など)
- ③ 毎月の電気量をグラフにして掲示し、月ごとの減少を目指します。
- ④ 冷暖房は設定温度を守ります。  
(冷房28℃、暖房20℃)
- ⑤ ガス、水を率先して節約します。
- ⑥ 環境に関わる学習を通して、児童への意識づけを図ります。



児童の宣言項目は、環境栽培委員会の児童を中心に課題を出し合い、宣言項目を設定した。教職員の宣言項目は、昨年の課題から項目の内容を改善した。

宣言項目は各教室や印刷室など見えるところに掲示し、意識できるようにしている。

## 2 行動

環境栽培委員会や保健給食委員会を中心に取り組みを進めている。

### ① 保健給食委員会の取り組み

- ・残菜調べ

給食週間を設け、給食をおいしく食べる呼びかけやポスターを給食室前の廊下に掲示

したり、残菜調べを行ったりして、「給食の食べ残し0」の意欲が高まるよう取り組んでいる。また給食集会を行い、食べ物のお大切さや作ってくださっている方への感謝の気持ちをもてるように取り組んでいる。

## ② 環境栽培委員会の取り組み

### ・美化活動（除草作業、落ち葉掃除など）

全校での美化作業時は道具の準備・片付けを行い、終了時間を知らせたり、草や落ち葉を委員会の児童で集めたりしている。また縦割り班掃除では、班長を中心に掃除前後のあいさつと掃除の反省（「無言掃除ができたか」「すみずみまでできたか」「時間いっぱいできたか」）を毎回行っている。さらに、定期的に「ピカピカコンクール」を行い、各教室が整理整頓されているかチェックし表彰している。

### ・エコキャップ運動

年間を通してペットボトルキャップの収集を呼びかけ、集めたキャップを専門業者に届け、世界の子供も達へワクチンを届ける取り組みをしている。



### ・花壇の整備、うさぎの世話

春と秋の二回、学級園の花の植え替えを呼びかけ、卒業式や入学式の花道の花も育てている。毎日花の水やりをしたり、定期的に草取りをしたりと花の世話をしている。

毎週交代で縦割り班ごとにうさぎのえさやりを行っているが、その呼びかけを放送で行っている。えさは、給食センターからキャベツの外側の葉やニンジンへのたの部分をもたらしている。

長期休業中の水やりやうさぎのえさやりは、高学年児童（4～6年生）が交代で行っている。

## ③ 各学級での取り組み

### ・省エネについて

各学級係活動等で教室を空ける時は必ず電気を消すようにしており、忘れていた場合でも教師や児童同士の声掛けでスイッチをオフにするようにしている。また、今年を含め3年間の電気使用量を比較するグラフを掲示し、視覚的に結果が見えるようにしながら節電を呼びかけた。



### ・ものを大切に使うことについて

環境 ISO 宣言の項目にはないが、各学級で様々な取り組みをしている。残菜が出ないよう、食缶のおかずを全部つぎ分けたり、児童によって量を調整し食べられる分だけついたりしている。また画用紙や折り紙の切れ端なども使える分は残し、使いやすいように整理をして置くようにしている。

### ・牛乳パックのリサイクルについて

給食の牛乳パックは外部団体との連携が図られており、リサイクルに出した牛乳パックはトイレットペーパーになって学校に還元されるようになっている。リサイクルをするために、ストローの袋が混じらないようにしっかりと分別するようにしている。

・環境学習について

4年生では、社会科でゴミや水についての学習を行う。水や電気などの節約など、意識して行動している。教室を出るときには必ず電気を消すように意識したり、手洗いやうがいをする時は水の出しっぱなしにしないよう、互いに声を掛けたりするようにしている。5年生は水俣学習を通して、環境について学び、学習発表会で学習したことを他の学年の児童や地域の方へ向けて発信している。

④ **PTA との取り組み**

・リサイクル回収

本年度も8月と2月にPTA主催でリサイクル回収を行っている。家庭だけでなく、地域全体に呼びかけ、新聞紙や雑誌、アルミ缶、ペットボトル、古着、一升瓶を回収している。また8月には、学校をきれいにするため親子での愛校作業も行った。

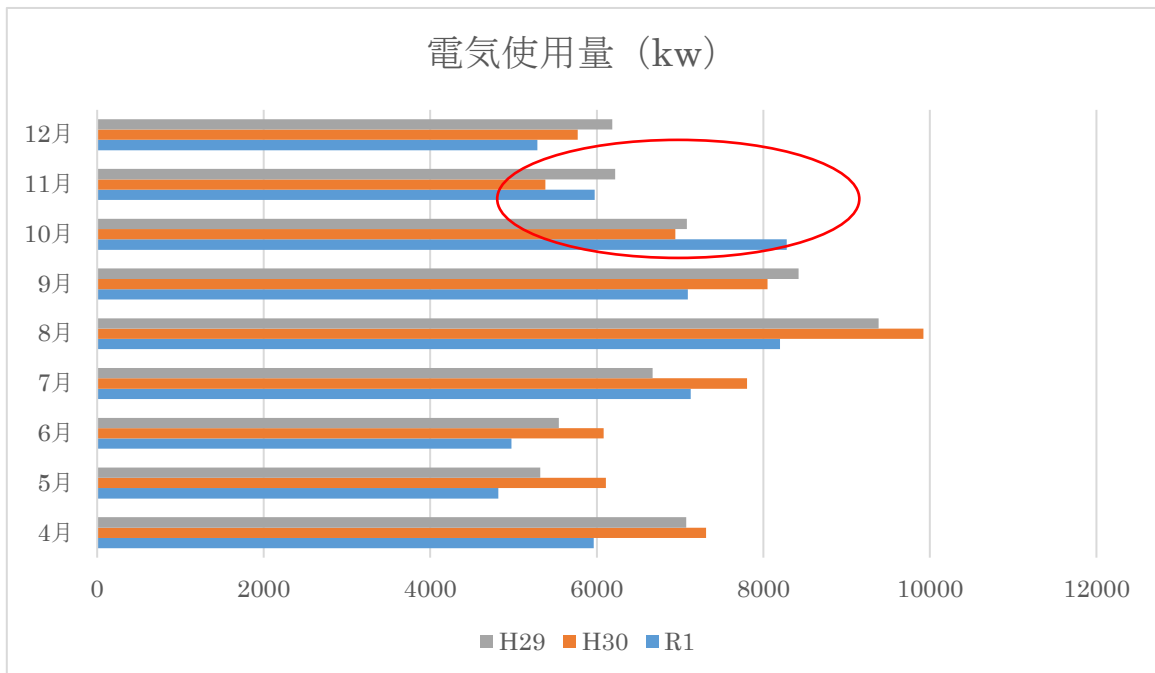
⑤ **その他の取り組み**

・「わがやのエコ大作戦！！」

夏季休業中に全児童、家庭でエコ活動に取り組んだ。低学年は家族で取り組むエコ活動の一つを選んで2週間実施した。中学年は自分でエコ活動を考え、2週間実施した。高学年は電気エネルギーをチェックし、作戦の前と後で比較するようにした。特に高学年では2週間分の電気エネルギーをチェックし、グラフにしていくことで、気づきや今後の課題についても考えることができた。



3 **見直し**



環境ISOの宣言項目と照らし合わせて、行動や目標の達成率を定期的に振り返ることが大切である。

上の表は、平成29年度、30年度、令和元年度の電気使用量を比較したグラフである。今年度は電気使用量の目標を前年度比-2%に設定していた。9月までは目標を達成できていたが、10月以降は前年度よりも使用量が増えている。特に10月の使用量が多く、エアコンの使用が大きく影響していると思われる。昨年の夏は猛暑が長引き、エアコンを使用する日が10月以降も続いたためと考えられる。電気使用量については、事務の先生とも連携し、職員や児童にも引き続き周知し、さらなる意識の向上を図っていききたい。また今年度は夏季休業中に、家庭も巻き込んで「わがやのエコ大作戦!!」を行った。子どもが取り組むエコ活動を考えることで、自分にできるエコ活動に気付くことができた。また子どもが考えたエコ活動を家族で取り組むことで、子どもたちの意識はもちろん、家庭の意識も高めることができた。

右の表を見ると分かるように、コピー用紙の発注数は年々増えている。ただ今年度は、10月の増税前に年度中の発注をしたので大幅に増えている。コピーは裏紙を利用したり、ミスプリントをなくしたり、職員の意識も高めていく必要がある。

	コピー用紙発注状況 (枚)
H29	117500
H30	121000
R1	164000

(4月～12月分で比較しています。)

#### 4 成果と課題

- 環境栽培委員会が主体となって全児童で分担をして美化活動を行ったことで、児童の「学校をきれいにしたい」という気持ちが強くなり、主体的に活動するようになった。また環境栽培委員会の呼びかけで、年間を通して学校全体で「エコキャップ運動」に取り組むことで、環境や人のために役に立ちたいという思いをもつことができた。
- 紙を大切に使うことを呼びかけたことにより、状況に応じて裏紙や色紙の切れ端を使い、紙を無駄なく使おうとする児童が増えつつある。
- 家族で取り組むエコ活動を考える行うことで、家庭の環境に対する意識も高めることができた。毎年続けていくことでさらに意識が高まっていくと考える。
- 9月までは電気使用量の目標を達成できていたが、10月以降は電気使用量が昨年度よりも増えてしまった。年間を通して目標を達成するためには、継続して呼びかけたり、意識づけを行ったりする必要がある。
- 全体の目標を達成するには職員の意識の向上も大切である。子どもたちの意識を高めるために、まずは職員一人一人が環境に対する意識を高め、行動で示していくことが必要である。